

- 問1 人口約119万人の県庁所在地を持つこの都道府県の都市交通について、1994年以降の動向や公共交通機関の特徴を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 県庁所在地では路面電車が運行されており、1994年以降は丘陵地の住宅地と都心を結ぶ新たな鉄道も導入されている。 | 2. 都心部の交通渋滞を解消するためにすべての路面電車が廃止され、1994年からは地下鉄網の整備に一本化された。 | 3. 1994年以降、東海道新幹線のすべての駅と県庁所在地を結ぶリニアモーターカーが丘陵地を貫いて運行されている。 | 4. 県庁所在地では路面電車に代わる移動手段として、山間部から都心へ木材を運搬するための貨物専用鉄道が1994年に開通した。 |
|--|--|---|--|
- 問2 中京工業地帯の歴史的な産業構造の変化と現在の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2023年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. かつては繊維工業が盛んであったが、現在は自動車などの輸送用機械の生産が中心となっている。 | 2. かつては京浜工業地帯と並ぶ印刷・出版業の拠点であったが、現在は石油化学コンビナートが中心となっている。 | 3. かつては造船業が盛んであったが、現在は内陸部での食料品工業や電子部品の生産が中心となっている。 | 4. かつては官営の製鉄所を中心に鉄鋼業が発展したが、現在はIC（集積回路）の生産が中心となっている。 |
|---|--|--|---|
- 問3 日本の主要な港の貿易統計において、年間輸出額が12兆円を超え、主な輸出品目として「自動車」や「内燃機関（エンジン）」が上位を占めている港の名前を答えなさい。 (2022年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|-----------|
| 1. 千葉港 | 2. 横浜港 | 3. 名古屋港 | 4. 成田国際空港 |
|--------|--------|---------|-----------|
- 問4 東京都中央卸売市場におけるレタスの入荷状況を確認すると、長野県産は6月から10月にかけて出荷のピークを迎えます。一方で、茨城県産は春と秋に、静岡県産は冬にそれぞれ出荷が多くなっています。このように、地域によって出荷時期が分かれている理由として最も適切なものはどれですか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 特定の県が市場を独占しないよう、国によって月ごとの出荷担当地域が法律で決められているため | 2. 輸送コストを削減するために、消費地から最も近い県だけがその時期に生産を行う契約をしているため | 3. 各地の気候の特色を活かして栽培時期をずらすことで、一年中安定して市場に供給するため | 4. レタスは連作障害が激しいため、一度収穫した県はその後数ヶ月間、出荷を停止しなければならないため |
|---|---|--|--|
- 問5 静岡県の産業構造に関する記述として、統計的な特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本海側に位置する地理的条件を活かし、冬の積雪を水源とした稲作と、酒造などの食品工業が中心である。 | 2. 県庁所在地に多くの大学が集中しており、サービス業の割合が製造業を大きく上回っている。 | 3. 輸送用機械などの製造品出荷額が大きく、茶の生産に加えてキャベツなどの園芸農業も盛んである。 | 4. 鉄鋼業や石油化学コンビナートが産業の中心であり、製造品出荷額の大部分を基礎素材産業が占めている。 |
|--|---|--|---|
- 問6 日本全国において山梨県、長野県、岐阜県、滋賀県の4つの県が強調されている資料があります。これらはいずれも海に面していない内陸県ですが、このうち富士山の一部が県境に含まれ、盆地の地形を活かした果樹栽培が盛んな県の名称と、その県庁所在地の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 長野県 - 長野市 | 2. 山梨県 - 山梨市 | 3. 山梨県 - 甲府市 | 4. 静岡県 - 静岡市 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問7 中部地方の内陸部に位置し、周囲を高い山々に囲まれた松本市のような地域の気候について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 周囲の山々が季節風を遮るため、冬は非常に乾燥して晴天が続くが、夏は梅雨や台風の影響で日本有数の多雨地帯となる | 2. 暖流である黒潮の影響を強く受けるため、1月の平均気温が氷点下になることはなく、冬でも温暖で湿潤な気候である | 3. 1月の気温が氷点下になるほど寒冷であるが、日本海からの湿った空気が直接流れ込むため、冬の降水量は沿岸部と同程度に多い | 4. 海から遠いため、夏季と冬季の気温差や日中の気温差が大きく、年間を通じて降水量が少ない中央高地の気候に属する |
|---|--|---|--|
- 問8 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に正しく並んでいる組み合わせはどれですか。 (2024年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 1. 飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈 | 2. 木曽山脈・飛騨山脈・赤石山脈 | 3. 赤石山脈・木曽山脈・飛騨山脈 | 4. 飛騨山脈・赤石山脈・木曽山脈 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
- 問9 富山市における昭和中期から平成にかけての地域変化について、JR富山港線沿線の状況を説明した文として、背景や要因を含めて最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 地価の安かった県庁付近の畑地が、人口の過密を解消するために新興住宅地として再開発された。 | 2. 通勤や通学の利便性が高い鉄道沿線の土地が需要を増したため、水田だった場所が大規模な住宅地として整備された。 | 3. 米の生産過剰を解決するために、政府の主導によって鉄道沿線の水田がすべて工場用地や商業ビル群に転換された。 | 4. 富山城址の北東にある市役所の移転に伴い、その周辺の広大な水田がすべて官公庁街へと作り替えられた。 |
|---|--|---|---|
- 問10 岐阜県などの濃尾平野下流部で見られる「輪中」と呼ばれる集落の形態について、その目的と土地の様子を正しく説明しているものはどれですか。 (2025年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 干拓によって新しく作られた農地において、土壌の塩分を抜くための排水路を複雑に巡らせ、管理用の土手を築いている。 | 2. 木曽三川の合流点に近い低湿地において、頻繁に発生する洪水などの水害から集落や耕地を守るために周囲を堤防で囲んでいる。 | 3. 日本海側からの強い季節風と積雪による被害を防ぐために、集落の北側に高い石垣と防風林を設置している。 | 4. 丘陵地での果樹栽培において、土砂崩れを防ぐために等高線に沿って段々畑を作り、その維持のために強固な石垣を組んでいる。 |
|--|---|--|---|
- 問11 中部地方の政治・経済の中核を担い、愛知県の県庁所在地となっている都市はどこか。この都市の周辺では中京工業地帯の中心として、自動車工業をはじめとする製造業が高度に発達している。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|-------|--------|
| 1. 岐阜市 | 2. 名古屋市 | 3. 津市 | 4. 静岡市 |
|--------|---------|-------|--------|
- 問12 日本の高速鉄道網である新幹線は、全国各地を結び地域の発展に寄与していますが、すべての県に路線が通っているわけではありません。東北地方の青森県、北陸地方の石川県、九州地方の鹿児島県にはすでに新幹線の駅が設置されていますが、これら3つの県とは異なり、現在、新幹線の路線が通っておらず、駅も設置されていない県はどこですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|--------|
| 1. 石川県 | 2. 鹿児島県 | 3. 山梨県 | 4. 青森県 |
|--------|---------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 県庁所在地では路面電車が運行されており、1994年以降は丘陵地の住宅地と都心を結ぶ新たな鉄道も導入されている。	都市部における交通形態は、その土地の歴史や地形的要因に強く影響されます。この地域では、古くから市民の足として親しまれてきた路面電車が現在も活用されている一方で、都市の拡大に伴って開発された丘陵地の住宅地から、官庁や商業施設が集まる都心部への通勤・通学を円滑にするため、1994年から新しい鉄道システムが運行を開始し、都市交通の多角化が進められました。
問2	答え 1 かつては繊維工業が盛んであったが、現在は自動車などの輸送用機械の生産が中心となっている。	この地域は明治時代から大正時代にかけて綿織物や毛織物といった繊維工業が非常に盛んでした。戦後、高度経済成長期を経て、自動車産業を中心とした重化学工業化が進み、現在では世界的な自動車生産の拠点へと発展を遂げました。
問3	答え 3 名古屋港	愛知県に位置するこの港は、背後に日本最大の工業出荷額を誇る中京工業地帯を控えています。特に豊田市周辺を中心とした自動車産業の集積が著しいため、完成車としての自動車や、その心臓部である内燃機関などの機械類が極めて高い割合で輸出されています。
問4	答え 3 各地の気候の特色を活かして栽培時期をずらすことで、一年中安定して市場に供給するため	日本の農業では、異なる気候条件を持つ産地がリレーのように時期をずらして出荷する「産地リレー」が行われています。長野県のような高冷地は夏でも涼しいため、平地で栽培が難しい夏場に供給を担います。これにより、消費者は一年を通じてレタスを手ででき、生産者は他の産地との競合を避けて安定した価格で販売することができます。
問5	答え 3 輸送用機械などの製造品出荷額が大きく、茶の生産に加えてキャベツなどの園芸農業も盛んである。	静岡県は東海道という日本の大動脈に位置しており、輸送用機械を中心とした加工組立型の工業が極めて盛んです。同時に、温暖な気候と大消費地に近い立地から、茶だけでなくキャベツなどの近郊農業も全国有数の規模で行われています。他の選択肢は、三重県（石油化学）、新潟県（日本海側の稲作）、あるいは愛知県のような大都市圏の特徴を述べています。
問6	答え 3 山梨県 - 甲府市	中央高地に位置する山梨県は、周囲を高い山々に囲まれた内陸県の一つです。県庁所在地の甲府市は甲府盆地に位置しており、この地域ではぶどうや桃などの果樹栽培が非常に盛んです。静岡県も富士山に面していますが、内陸県ではないためこの条件には当てはまりません。
問7	答え 4 海から遠いため、夏季と冬季の気温差や日中の気温差が大きく、年間を通じて降水量が少ない中央高地の気候に属する	松本市のような内陸部の盆地は「中央高地の気候」に分類されます。海から離れているため、比熱の関係で土地が温まりやすく冷えやすい性質を持ち、気温の年較差や日較差が大きくなります。また、周囲を高い山々に囲まれているため、季節風に含まれる水蒸気が遮断され、年間を通じて降水量が少なくなるのが特徴です。実際に、松本市の統計では1月の気温が氷点下となる一方で、降水量は日本海側や太平洋側と比べて少なくなっています。
問8	答え 1 飛騨山脈 ・ 木曽山脈 ・ 赤石山脈	日本アルプスは、最も北側に位置する飛騨山脈（北アルプス）、その南に位置する木曽山脈（中央アルプス）、そして最も南側に位置する赤石山脈（南アルプス）の3つから成り立っています。これらはプレートの運動による圧力で地層が押し上げられたことで形成された、日本で最も標高の高い山岳地帯です。
問9	答え 2 通勤や通学の利便性が高い鉄道沿線の土地が需要を増したため、水田だった場所が大規模な住宅地として整備された。	都市の拡大（スプロール現象や計画的な宅地開発）は、多くの場合、主要な交通網に沿って進行します。JR富山港線沿線において、戦後直後の地形図で「水田」の記号で埋め尽くされていた場所が、平成の地図で「住宅地」を示す網掛けに変わっているのは、鉄道という交通インフラを軸に居住エリアが郊外へと広がったことを示しています。選択肢にある「県庁が畑地にあった」という記述や「市役所の移転」は、このエリアの主たる土地利用変化の直接的な説明には当てはまりません。
問10	答え 2 木曽三川の合流点に近い低湿地において、頻繁に発生する洪水などの水害から集落や耕地を守るために周囲を堤防で囲んでいる。	濃尾平野の木曽三川（木曽川・長良川・揖斐川）の下流部は、土地が低く水害を受けやすい地域です。そこで、人々は自分たちの住む場所や田畑を守るために、周囲を「輪中」と呼ばれる堤防で囲みました。これは自然環境に適応するための人々の知恵の一つです。
問11	答え 2 名古屋市	愛知県の県庁所在地である名古屋市は、中部地方で最大の人口を抱える大都市です。中京工業地帯の核として、周辺の豊田市などとともに世界的な自動車産業の集積地を形成しており、経済的に重要な役割を果たしています。
問12	答え 3 山梨県	青森県（東北新幹線・北海道新幹線）、石川県（北陸新幹線）、鹿児島県（九州新幹線）には、それぞれ新幹線の路線と駅が存在します。一方、山梨県は隣接する静岡県を東海道新幹線が通っていますが、山梨県内には新幹線の路線自体が通っておらず、駅も設置されていません。ただし、将来的に「リニア中央新幹線」の駅が設置される予定があることが、地理上の大きな特徴です。

問1	愛知県は日本最大の製造品出荷額を誇る県ですが、その工業出荷額の内訳において、自動車産業などの機械工業を含む「重工業」の占める割合が非常に高いという特徴があります。この愛知県を中心として発達している、日本を代表する工業地帯の名称として適切なものはどれですか。 <small>(2023年 岩手県公立入試 類似)</small>			
	1. 瀬戸内工業地域	2. 阪神工業地帯	3. 京浜工業地帯	4. 中京工業地帯
問2	2019年の工業統計において、製造品出荷額の上位を占める愛知県や静岡県に共通する特徴として、最も大きな割合を占める工業部門とその具体的な生産品の内容について説明したものを選びなさい。 <small>(2024年 高山県公立入試 類似)</small>			
	1. 輸送用機械工業が中心であり、自動車やその部品、オートバイなどを製造している。	2. 化学工業が中心であり、プラスチックや医薬品などの化学製品を大規模に製造している。	3. 金属製品工業が中心であり、建築材料や工具などの金属加工品を製造している。	4. 電気機械工業が中心であり、スマートフォンや半導体などの電子部品を製造している。
問3	夏でも涼しい高冷地の気候を利用した抑制栽培が盛んで、長野県が全国トップクラスの生産量を誇る野菜として正しいものを、次のうちから1つ選びなさい。 <small>(2026年 熊本県公立入試 類似)</small>			
	1. トマト	2. レタス	3. きゅうり	4. キャベツ
問4	中部地方の工業、特に中京工業地帯における「輸送用機械器具製造業」の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 <small>(2016年 鹿児島県公立入試 類似)</small>			
	1. 自動車や航空機などの製造を指し、広大な用地と膨大な数の関連部品工場を必要とするため、裾野の広い産業構造を形成している。	2. 海外から輸入した原油を加工して燃料や化学製品を作る産業であり、大規模な石油コンビナートが海岸沿いに形成されている。	3. 高度な技術を要する電子辞書やデジタルカメラの製造が中心であり、製品の軽量化により空港近くの内陸部に工場が集中している。	4. 石炭や鉄鉱石を原料に鋼材を作る産業であり、高度経済成長期に大型の製鉄所が建設されたことで発展を遂げた。
問5	石川県の能登地方で生産され、下地に「地の粉（じのこ）」と呼ばれる土を混ぜることで丈夫な塗膜を作る、北陸地方を代表する漆器の名称を選択してください。 <small>(2022年 和歌山県公立入試 類似)</small>			
	1. 輪島塗	2. 会津塗	3. 南部鉄器	4. 西陣織
問6	5万分の1地形図「上野原」における、ある地点の状況を説明した次の文章を読み、その地点の地形と土地利用の組み合わせとして最も適切なものを選択してください。「東西に延びる直線状の道路沿いに位置しており、その道路のすぐ北側には等高線が非常に密集している場所がある。また、道路のすぐ南側には中央本線の線路が並行して走っている。」 <small>(2019年 東京都公立入試 類似)</small>			
	1. 大きな河川を渡るための長い橋が架かっており、線路と道路が立体交差している場所	2. 周囲に果樹園が広がるなどらかな傾斜地で、駅前には商店街が形成されている場所	3. 北側に急な崖が迫っており、限られた平坦地に道路と鉄道が並行して通っている場所	4. 等高線の間隔が広く、大規模な住宅団地を造成するために森林が切り開かれた場所
問7	富山県の砺波平野に見られる散村では、かつての地形図と現在のものを比較すると、家々の間を縫うように走っていた細く曲がりくねった道路が、格子状の直線的な道路へと変化している様子が確認できます。このような景観の変化をもたらした主な背景として、最も適切な説明はどれですか。 <small>(2018年 東京都公立入試 類似)</small>			
	1. 急速な宅地化が進んだことで、かつての農道が廃止され、住宅地を優先した都市計画道路が新設されたため。	2. 減反政策の影響で水田が大幅に減少し、余った土地をバイパス道路などの公共用地に転用したため。	3. 鉄道網の廃止に伴い、線路跡地を生活道路として再利用したことで、広い直線道路が確保されたため。	4. 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。
問8	日本の都道府県別のお茶の生産量に関する統計において、国内生産量の約四割（39.6%）を占め、全国一位となっている都道府県はどこですか。 <small>(2017年 高知県公立入試 類似)</small>			
	1. 鹿児島県	2. 京都府	3. 三重県	4. 静岡県
問9	中部地方の各県の統計において、愛知県よりも人口規模が小さく、日本海側に位置する石川県の特徴について述べたものとして正しいものはどれですか。農業産出額の主要品目に着目して答えなさい。 <small>(2023年 埼玉県公立入試 類似)</small>			
	1. 内陸部に位置するため、米の生産は行われず、果実の産出額が県全体の9割を占めている。	2. 中部地方で最も人口が少ない県であり、米の産出額が全国で最も高い。	3. 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。	4. 愛知県よりも人口が多く、農業産出額のほとんどが畜産によって占められている。
問10	長野県などで盛んな、夏の涼しさを利用したレタス栽培の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 <small>(2019年 長崎県公立入試 類似)</small>			
	1. 大消費地に近い立地を活かし、鮮度を保ったまま短時間で市場へ輸送している。	2. 標高が高い地域の気候を利用し、平地の出荷が少なくなる夏季に合わせて生産・出荷している。	3. 冬でも温暖な気候を活かし、他の地域が生産できない冬から春にかけて出荷している。	4. ビニールハウスや温室を利用し、平地よりも早い時期に収穫して出荷している。
問11	川が山間部から平地に出る場所に、土砂が堆積して等高線が扇状に広がる地形が形成されることがあります。この地形における土地利用の記述として、地形の性質を踏まえた最も適切なものはどれですか。 <small>(2024年 長野県公立入試 類似)</small>			
	1. 砂や礫が積みもり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。	2. 標高が低く平坦なため、重化学工業の巨大な工場が立ち並び工業地域となった。	3. 川の最下流部に位置するため、砂や泥が堆積してできた水はけの悪い低地となっている。	4. 土砂が細かく湿気が多いため、古くから大規模な水田地帯として利用されてきた。
問12	日本海に大きく突き出た能登半島を擁する石川県において、その行政の中心である県庁所在地として正しい都市名を選択してください。 <small>(2017年 秋田県公立入試 類似)</small>			
	1. 新潟市	2. 金沢市	3. 富山市	4. 福井市

答え合わせ・解説

問1	答え 4 中京工業地帯	愛知県は豊田市を中心とした自動車産業の集積が著しく、輸送用機械などの重工業が県全体の工業を牽引しています。この地域一帯は中京工業地帯と呼ばれ、1977年以降、日本で最も出荷額の多い工業地帯としての地位を確立しています。他の工業地帯と比較しても、機械工業の割合が際立って高い点が大きな特徴です。
問2	答え 1 輸送用機械工業が中心であり、自動車やその部品、オートバイなどを製造している。	中部地方から東海地方にかけての工業地帯・地域（中京工業地帯や東海工業地域）では、一貫して輸送用機械工業の割合が高いことが特徴です。愛知県の自動車、静岡県のアートバイや自動車部品などは、日本の輸出産業を支える中核となっており、統計データにおいてもその出荷額の大きさが顕著に現れます。
問3	答え 2 レタス	長野県などの高冷地では、夏の涼しい気候を生かして出荷時期を遅らせるレタスの抑制栽培が盛んに行われています。
問4	答え 1 自動車や航空機などの製造を指し、広大な用地と膨大な数の関連部品工場を必要とするため、裾野の広い産業構造を形成している。	輸送用機械器具製造業の代表例である自動車産業は、一つの製品を完成させるために数万点の部品を必要とします。そのため、中部地方には組み立て工場だけでなく、部品を供給する関連工場が数多く集まっており、製造品出荷額において他業種を圧倒する規模となっています。他の選択肢は、電気機械、石油化学、鉄鋼業についての説明です。
問5	答え 1 輪島塗	石川県輪島市で生産される輪島塗は、国の伝統的工芸品に指定されている漆器です。北陸地方の湿潤な気候は漆の乾燥に適しており、古くから地場産業として発展してきました。福島県の会津塗、岩手県の南部鉄器、京都府の西陣織といった他の地域の伝統産業との違いを区別することが重要です。
問6	答え 3 北側に急な崖が迫っており、限られた平坦地に道路と鉄道が並行して通っている場所	地形図において等高線が密集している部分は、傾斜が急な「崖」や「急斜面」であることを示しています。道路の北側に崖があり、南側に鉄道の地図記号が並行しているという記述から、山地や段丘崖と河川に挟まれたわずかな平坦地を、道路や鉄道といった交通インフラが効率的に利用している状況が判断できます。
問7	答え 4 農業構造改善事業により、大型の農業機械が利用しやすいよう、耕地整理と併せて道路が再整備されたため。	砺波平野の散村地域では、農業の生産性を高めるために「農業構造改善事業」が行われました。この事業では、不整形だった田んぼを四角く整える耕地整理とともに、大型のトラクターやコンバインが通行しやすいよう、曲がりくねっていた古い道路が直線状の道路へと作り替えられました。このため、現在の地図では規則正しい格子状の道路網が目立つようになっています。
問8	答え 4 静岡県	静岡県は、全国の茶の生産シェアの約四割を占める日本一の産地です。二〇一四年の統計データでは、一位の静岡県に次いで二位が鹿児島県（29.4%）、三位が三重県（8.1%）、四位が宮崎県（4.6%）となっており、静岡県が圧倒的なシェアを誇っています。牧之原台地などの広大な土地を利用した栽培が古くから盛んです。
問9	答え 3 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。	石川県は中部地方の中で、人口規模では愛知県などの大都市圏を下回りますが、日本海側の気候を活かした農業が展開されています。北陸地方の特徴として稲作（米）の割合が高いことが挙げられますが、石川県においては梨やぶどうといった果実の生産も農業産出額の中で特徴的な位置を占めています。統計を読み取る際は、単に「日本海側＝米」と思い込まず、果実などの他品目との組み合わせに注目することが重要です。
問10	答え 2 標高が高い地域の気候を利用し、平地の出荷が少なくなる夏季に合わせて生産・出荷している。	中部地方の山間部で行われるこの農業は、夏の冷涼な気候を「天然の冷蔵庫」のように利用している点が特徴です。高知県や宮崎県で見られる、温暖な気候や施設を利用して出荷時期を早める「促成栽培」とは、気候条件の利用の仕方が正反対になります。このように時期をずらして生産することを「抑制栽培」と呼ぶこともあります。
問11	答え 1 砂や礫が積もり水はけが良いため、古くから果樹園や桑畑として利用されてきた。	川が山地から平地へ出たところに形成される扇状地は、堆積した土砂の粒が大きく、水が地下に浸透しやすい「水はけが良い」という性質を持っています。そのため、水が必要な稲作（水田）にはあまり向かず、果樹園や養蚕のための桑畑として利用されてきました。選択肢にある「川の最下流部」にできる地形は三角州であり、扇状地とは形成場所や性質が異なります。
問12	答え 2 金沢市	北陸地方に位置する石川県は、能登半島という特徴的な地形を持っています。その県庁所在地である金沢市は、北陸地方の政治・経済・文化の拠点として重要な役割を果たしており、歴史的には加賀藩の城下町として発展した背景があります。

1. 沖縄県 2. 静岡県 3. 愛知県 4. 千葉県

1. 岐阜県 2. 山梨県 3. 長野県 4. 群馬県

1. 長野県 2. 青森県 3. 山梨県 4. 山形県

1. 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある

2. 広大な農地を活かした第1次産業が中心であり、他地域からの人口流入はほとんど見られない

3. いわゆる「ベッドタウン」としての性質が極めて強く、昼間は多くの住人が近隣の他県へ通勤・通学して

4. 山間部を中心とした過疎化が深刻な課題となっており、若年層の流出によって夜間の人口密度が低下して

1. ぶどう 2. りんご 3. みかん 4. さくらんぼ

1. 愛知県とレタス 2. 愛知県とぶどう 3. 山梨県とぶどう 4. 山梨県とレタス

1. 大井川から大量の水を引くことが容易であり、常に潤湿な土地を好む茶の性質に合っているため。

2. 島田駅や図書館などの公共施設が南側に集まっており、都市部での消費が期待できるため。

3. 寒冷な気候に強く、雪の多い地域でも安定して収穫できる作物として推奨されたため。

4. 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。

1. 環太平洋造山帯 2. 日本の背骨 3. 日本海の大壁 4. 日本の屋根

1. 先端技術産業 2. 加工貿易 3. 重化学工業 4. 地場産業

1. 鉄鋼業や石油化学コンビナートが発達しており、原材料の輸入に便利な臨海部に重化学工業が集中している。
2. 輸送用機械の割合が極めて高く、オートバイや楽器、自動車関連の工場が数多く立地している。
3. 出版・印刷などの都市型工業の割合が高く、かつては日本最大の工業出荷額を誇っていた。
4. 内陸部に高速道路網を活用した工業団地が形成され、近年では医薬品や情報通信機器の製造が伸びている。

1. 化学工業 2. 電気機械工業 3. 輸送用機械工業 4. 鉄鋼業

1. 長野市 2. 岐阜市 3. 新潟市 4. 金沢市

1. 日本海側の気候 2. 太平洋側の気候 3. 瀬戸内の気候 4. 中央高地の気候

1. 新潟県 2. 石川県 3. 福井県 4. 富山県

答え合わせ・解説

問1	答え 3 愛知県	愛知県は花の産出額が日本一であり、特に渥美半島に位置する田原市などを中心に菊の電照栽培が非常に盛んです。統計上も全国の約37パーセントという高いシェアを誇っています。なお、選択肢にある沖縄県も約10パーセントのシェアを持ち、冬の温暖な気候を利用した電照栽培が行われる主要な産地の一つです。
問2	答え 1 岐阜県	中部地方の内陸県には、岐阜県、長野県、山梨県などがあります。このうち、飛騨山脈が県境に位置し、白川郷の合掌造り集落が世界文化遺産として登録されているのは岐阜県です。長野県も日本アルプスに面した内陸県ですが、合掌造りの世界遺産は所在しません。富山県は日本海に面しており、内陸県ではない点に注意が必要です。
問3	答え 3 山梨県	中央高地に位置する山梨県は、周囲を高い山々に囲まれた盆地が広がっています。降水量が少なく日照時間が長いという内陸部特有の気候に加え、甲府盆地の縁に広がる水はけの良い地形を利用することで、米よりも付加価値の高いブドウやモモなどの果樹栽培が発展しました。
問4	答え 1 中心都市に経済や教育の機能が集中しており、昼間の活動人口が夜間の居住人口よりも多い状態にある	高い人口密度と100%を超える昼夜間人口比率は、その地域が広域的な中心地であることを示しています。愛知県のように、製造業や商業が盛んな拠点都市を持つ地域では、雇用機会を求めて周辺から人が集まるため、昼間の人口が増加します。また、人口が増加しているというデータは、その地域の経済活動が活発であり、居住地としての需要も高いことを裏付けています。
問5	答え 1 ぶどう	山梨県は甲府盆地を中心に、水はけの良い扇状地を利用したぶどうの栽培が非常に盛んであり、生産量は全国1位となっています。なお、さくらんぼは山形県、みかんは和歌山県や愛媛県、りんごは青森県が主な産地です。
問6	答え 3 山梨県とぶどう	山梨県は甲府盆地を中心に、水はけのよい扇状地を利用した果樹栽培が非常に盛んです。農業生産額の統計では、米や野菜よりも果実の割合が極めて高いのが特徴で、特にぶどう、もも、すももの収穫量は日本一を誇ります。愛知県はキャベツなどの野菜や花の生産額が多いことで知られており、果実が突出しているわけではありません。
問7	答え 4 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。	茶の栽培には、年間を通じて温暖な気候であることと、根腐れを防ぐために水はけ（透水性）が良い土地であることが重要です。島田市を流れる大井川周辺の台地や斜面は、砂礫質の土壌が多く水はけに優れているため、大規模な茶園が発達しました。選択肢にある「図書館が南にある」といった情報は土地利用の直接的な理由にはなりません。
問8	答え 4 日本の屋根	本州のほぼ中央部に標高3000m級の高い山々が集中している様子が、家屋の屋根のように見えることから「日本の屋根」と称されます。これら3つの山脈は日本アルプスとも呼ばれ、日本の地形を象徴する険しい山岳地帯を形成しています。
問9	答え 4 地場産業	特定の地域に根ざし、地域の原材料や技術、労働力を活用して発展した産業を地場産業と呼びます。鯖江市の眼鏡や、燕三条（新潟県）の金属洋食器などがその代表例です。これらは単なる製造業ではなく、地域の文化や歴史と深く結びついており、現在はデザイン性の向上やブランド化による差別化が進められています。
問10	答え 2 輸送用機械の割合が極めて高く、オートバイや楽器、自動車関連の工場が数多く立地している。	静岡県を中心とする東海工業地域は、中京工業地帯の影響を強く受け、オートバイや自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業が非常に盛んです。もともと浜松周辺で盛んだった綿織物業の技術が、自動織機からオートバイ、楽器製造へと発展した歴史的背景があります。選択肢にある重化学工業主体の記述は瀬戸内工業地域や京葉工業地域、都市型工業は京浜工業地帯、内陸部の工業団地は北関東工業地域の特徴です。
問11	答え 2 電気機械工業	愛知県全体では自動車産業を主軸とする輸送用機械工業が圧倒的な割合を占めますが、名古屋市単体の統計では、電気機械工業が36%と最も高い割合を示しています。これは、県内の広域に分散する自動車の組立工場に対し、都市部である名古屋市には精密機器や電子部品の生産拠点、あるいはそれらを管理する機能が集積しているためです。
問12	答え 4 金沢市	富山県、新潟県、長野県、岐阜県などが集まる中部地方において、富山県の西側に位置しているのは石川県です。石川県は日本海に面した能登半島や加賀平野を有しており、その県庁所在地は金沢市に置かれています。新潟市は新潟県、長野市は長野県、岐阜市は岐阜県の県庁所在地です。
問13	答え 1 日本海側の気候	冬に北西から吹く季節風が、対馬海流（暖流）の影響で湿気を蓄え、越後山脈などの高い山々にぶつかることで、日本海側には多くの雪が降ります。このため、新潟市などの地域では冬の降水量が夏よりも多くなるのが大きな特徴です。
問14	答え 3 福井県	北陸地方は一般的に新潟・富山・石川・福井の4県を指しますが、その中で最も西側に位置するのが福井県です。福井県は嶺南地方を中心に京都府や滋賀県との境界を接しており、中部地方という枠組みにありながら、歴史的・文化的に近畿地方との交流が非常に盛んであるという特徴を持っています。

- 問1 日本の工業地帯・地域別の統計において、全国の工業生産額の約27.1%を占め、第1位となっている地域の特徴として最も適当なものはどれか。
(2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。 | 2. 印刷・出版業が集積し、東京都を中心とした巨大な消費地に隣接する京浜工業地帯を中心としている。 | 3. 石油化学コンビナートが沿岸部に形成され、化学工業の割合が高い瀬戸内工業地域を中心としている。 | 4. 古くから繊維工業や金属工業が発展し、現在は中小の機械工場が密集する阪神工業地帯を含んでいる。 |
|--|---|---|---|
- 問2 ある都道府県の産業的特徴について、農業では「きく」の出荷量が全国1位、工業では「輸送用機械器具」の出荷額が全国1位となっています。この県の工業的背景について説明した文として最も適切なものはどれですか。
(2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 豊田市を中心に自動車産業が集積しており、中京工業地帯の出荷額において大きな割合を占めている。 | 2. 茶の生産が全国1位であるとともに、オートバイや楽器などの製造が盛んな工業都市が並んでいる。 | 3. 京浜工業地帯に属し、輸送用機械器具の出荷額では静岡県に次いで全国3位である。 | 4. 冬でも温暖な気候を利用して「きく」などの花き栽培が行われ、工業より農業の産出額の方が高い。 |
|---|--|---|--|
- 問3 富山県を含む北陸地方では、かつてアルミニウム工業が盛んに発達しました。アルミニウムの製錬には極めて大量の電力を必要とすることを踏まえ、この地域に産業が集積した理由として最も適切な説明を選びなさい。
(2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--------------------------------------|
| 1. 北陸新幹線の開通により、製品を消費地である首都圏へ高速輸送できるようになったため | 2. 広大な平野部を利用して大規模な太陽光発電が行われ、電力を自給できたため | 3. 大規模な火力発電所が建設され、海外から輸入した石炭を安く利用できたため | 4. 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため |
|---|--|--|--------------------------------------|
- 問4 中部地方の農業について、東海地方で盛んに行われている農業の特色と、その代表的な生産地である半島名の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。
(2019年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-------------------|------------------|--------------------|
| 1. 渥美半島における施設園芸農業 | 2. 房総半島における施設園芸農業 | 3. 渥美半島における米の二期作 | 4. 能登半島における果樹栽培と酪農 |
|-------------------|-------------------|------------------|--------------------|
- 問5 静岡県富士市において、製紙業（紙・パルプ工業）が全国有数の規模にまで発展した主な理由について、自然環境の特色を踏まえた説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。
(2019年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|------------------------------------|
| 1. 製造工程で欠かせない良質で豊富な地下水や湧水が、富士山麓で容易に得られたため | 2. 火山の噴火によって形成された広大な平坦地が、大規模な工場の建設に適していたため | 3. 原料となる木材を運び出すための急流な河川が、富士山から駿河湾に向かって流れているため | 4. 冷涼な気候が、パルプを乾燥させて製品にする工程に適していたため |
|---|--|---|------------------------------------|
- 問6 北陸地方は日本海側に位置し、冬には季節風の影響で非常に多くの降雪量が見られます。このような自然環境のもとで、江戸時代以来の伝統技術や地元の原材料を活用した産業が発達した背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 冬の強い季節風をエネルギー源とした大規模な機械工業が、江戸時代から沿岸部で発達した | 2. 豊富な雪解け水を工業用水として活用するため、冬の期間に限定して大規模な化学工業が行われた | 3. 冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった | 4. 広大な平野部において、冬でも温暖な気候を活かした二毛作が行われ、その加工品製造が広まった |
|--|---|---|---|
- 問7 日本の伝統的な住居には、その土地の自然環境に合わせた工夫が見られます。冬の降雪量が非常に多い「豪雪地帯」において、家屋が雪に埋もれたり潰れたりするのを防ぐために、屋根の傾斜を急にした住居様式を何と呼びますか。
(2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 寝殿造り | 2. 高床住居 | 3. 土蔵造り | 4. 合掌造り |
|---------|---------|---------|---------|
- 問8 愛知県を中心とする東海地方では、主要な自動車の組み立て工場の周囲に、無数の部品工場が密集して分布しています。こうした工場の立地傾向について説明した文として、正しいものはどれですか。
(2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 部品の円滑な供給を行うため、高速道路の沿線やインターチェンジの周辺に多く分布している | 2. 最新の情報を得るため、工場のほとんどが県庁所在地の中心駅前の高層ビル内に集まっている | 3. 騒音や振動による公害を防ぐため、主要な交通網から遠く離れた山間部に点在している | 4. 製品の重量が非常に重いため、内陸部を避けてすべて大規模な港湾施設の中に建設されている |
|---|---|--|---|
- 問9 日本の菊の産出額割合を示した統計資料において、全国の約37パーセントを占めて第1位となっており、夜間に数多くの電球を点灯させる電照栽培が盛んな地域として知られる都道府県を選んでください。
(2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 愛知県 | 2. 沖縄県 | 3. 千葉県 | 4. 静岡県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 中部地方9県の農業産出額を比較した際、愛知県や静岡県などのように上位品目の割合が分散している県がある一方で、新潟県や富山県、石川県、福井県といった県では、一つの品目の産出額が全体の過半数を占める傾向にあります。これらの日本海側の県において、産出額が突出して多い品目はどれですか。
(2020年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|--------------|----------------|------------------|
| 1. 米 | 2. 豚や鶏などの畜産物 | 3. ブドウやモモなどの果実 | 4. キャベツやレタスなどの野菜 |
|------|--------------|----------------|------------------|
- 問11 愛知県の渥美半島など、中部地方の太平洋側では、温室やビニールハウスなどの施設を効果的に利用して、キャベツや電照菊、メロンなどを生産する農業が盛んに行われています。このような、人工的な環境を整えた施設の中で農作物を育てる農業形態を何と呼びますか。
(2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-----------|---------|
| 1. 促成栽培 | 2. 近郊農業 | 3. 施設園芸農業 | 4. 抑制栽培 |
|---------|---------|-----------|---------|
- 問12 日本の農業において、農業産額の構成比を地域別に見たとき、米が占める割合が約56%に達し、全国の地域区分の中で唯一、米が過半数を占めている「単作地帯」としての特徴が顕著な地域はどこですか。
(2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 九州地方 | 2. 四国地方 | 3. 北陸地方 | 4. 関東地方 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問13 中部地方に位置し、海に面していない内陸県である長野県は、日本で最も多い8つの県と隣接しています。これらの隣接する県のうち、関東地方に属する2つの県の県庁所在地名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-------------|------------|--------------|
| 1. 甲府市と静岡市 | 2. 宇都宮市と水戸市 | 3. 長野市と前橋市 | 4. 前橋市とさいたま市 |
|------------|-------------|------------|--------------|
- 問14 東海地方の臨海部などで特に発展している輸送用機械の製造において、製品を海外へ輸出する手段として、航空輸送ではなく「海上輸送」が主に選ばれる理由について、製品の特徴に触れて説明したものとして最も適切なものはどれですか。
(2019年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから | 2. 製品の鮮度を維持する必要があり、温度管理設備が整った海上コンテナでの輸送が必須だから | 3. 製品が非常に小型で高付加価値なため、輸送中の破損リスクが低い大型船が適しているから | 4. 製品が軽量であり、内陸部の工場から港までの陸上輸送コストが安く済むから |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 自動車産業の強力な集積を背景に、輸送用機械の製造品出荷額が非常に多い中京工業地帯を含んでいる。	中部地方の太平洋側に位置する中京工業地帯は、愛知県の豊田市などを中心に世界的な自動車産業の集積地となっており、日本の工業生産額において長年第1位を維持しています。特に輸送用機械の占める割合が極めて高いことが、全体の生産額を押し上げる大きな要因となっています。
問2	答え 1 豊田市を中心に自動車産業が集積しており、中京工業地帯の出荷額において大きな割合を占めている。	愛知県は、輸送用機械器具（自動車など）の出荷額が全国シェアの約35.5%を占める日本最大の工業県です。特に豊田市などへの企業集積が、日本一の製造品出荷額を支える中京工業地帯の原動力となっています。一方で、大規模な灌漑施設（豊川用水など）の整備により、渥美半島などで「きく」をはじめとする農業も盛んに行われており、工業・農業ともに全国屈指の規模を誇ります。静岡県は輸送用機械器具2位、沖縄県は「きく」の出荷量2位であり、これらは愛知県に次ぐ順位となっています。
問3	答え 4 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため	アルミニウムの製錬は「電気の新詰」と呼ばれるほど大量の電力を消費します。富山県は北アルプスなどの山々から流れる急流河川に恵まれ、水力発電による安定した電力供給が可能であったため、高度経済成長期を中心にアルミニウム工業が大きく発展しました。
問4	答え 1 渥美半島における施設園芸農業	愛知県の渥美半島では、太平洋側の温暖な気候を背景に、ビニールハウスや温室などの施設を活用して花や野菜を栽培する「施設園芸農業」が非常に盛んです。特に菊の成長を光で調節する電照菊の栽培は全国的に有名です。房総半島は千葉県（関東地方）に位置し、米の二期作はかつての高知県などで見られた形態です。また、能登半島は北陸地方に位置するため、東海地方の説明としては不適切です。
問5	答え 1 製造工程で欠かせない良質で豊富な地下水や湧水が、富士山麓で容易に得られたため	工業の立地条件には、原料、交通、労働力など様々な要因がありますが、富士市の製紙業においては「水」が最も重要な要因です。紙の製造には原料を溶かしたり洗浄したりするために大量の清浄な水が必要です。富士山に降った雨や雪が地下を通して湧き出す富士山麓の伏流水は、この条件に合致していたため、この地域に工場が集中しました。
問6	答え 3 冬の間は積雪により農作業が困難になるため、農家の副業として手仕事による工業が盛んになった	北陸地方は冬に湿った北西の季節風が山脈にぶつかすることで、世界的な豪雪地帯となります。冬の間は積雪によって屋外での農作業ができなくなるため、農家の人々が収入を得るための副業として、室内で行える伝統技術を用いた地場産業が発達しました。
問7	答え 4 合掌造り	豪雪地帯である北陸地方や中部地方の山間部で見られる、掌（てのひら）を合わせたような形の急勾配な屋根を持つ住居を「合掌造り」と呼びます。高床住居は主に東南アジアなどの熱帯地域で湿気や浸水を防ぐためのもの、土蔵造りは火災から家財を守るための防火建築であり、地域の気候特性によって住居の形は大きく異なります。
問8	答え 1 部品の円滑な供給を行うため、高速道路の沿線やインターチェンジの周辺に多く分布している	自動車部品は多頻度かつ小口で輸送されることが多いため、交通の利便性が立地の決定において極めて重要です。愛知県の事例では、東名高速道路や伊勢湾岸自動車道などの幹線道路網に沿って工場が配置されており、組み立て工場と部品工場の間でのスピーディーな物流を実現しています。
問9	答え 1 愛知県	愛知県は花の産出額が日本一であり、特に渥美半島に位置する田原市などを中心に菊の電照栽培が非常に盛んです。統計上も全国の約37パーセントという高いシェアを誇っています。なお、選択肢にある沖縄県も約10パーセントのシェアを持ち、冬の温暖な気候を利用した電照栽培が行われる主要な産地の一つです。
問10	答え 1 米	北陸地方に位置する新潟県、富山県、石川県、福井県は、広大な平野と豊富な雪解け水を利用した稲作が非常に盛んな地域です。そのため、中部地方の中でもこれらの県は農業産出額に占める米の割合が極めて高く、上位品目の多様性が他の県に比べて低いという対照的な構造を持っています。
問11	答え 3 施設園芸農業	温室やビニールハウスといった建築物の中で温度や水分を調節し、高品質な作物を安定して出荷する手法を施設園芸農業といいます。愛知県の渥美半島ではこの手法を用いて、全国有数の産地が形成されています。紛らわしい用語として「促成栽培」がありますが、これは温暖な気候を利用して出荷時期を早める「栽培技術」を指すのに対し、「施設園芸農業」は施設を用いる「農業形態」そのものを指します。
問12	答え 3 北陸地方	北陸地方は、農業産額の内訳において米の占める割合が極めて高く、全国で最も稲作に特化した地域です。九州地方や四国地方は温暖な気候を利用した野菜の促成栽培や畜産が盛んであり、関東地方は都市部への出荷を目的とした近郊農業により野菜の割合が高いため、米が過半数を占めるのは北陸地方特有の統計的特徴といえます。
問13	答え 4 前橋市とさいたま市	長野県は新潟県、富山県、岐阜県、愛知県、静岡県、山梨県、群馬県、埼玉県との8県と境界を接しています。このうち、関東地方に区分されるのは群馬県と埼玉県です。群馬県の県庁所在地は前橋市、埼玉県の県庁所在地はさいたま市です。山梨県は長野県と同様に中部地方に分類されるため、関東地方の県を問う本問の条件には合致しません。また、長野市は長野県自身の県庁所在地です。
問14	答え 1 製品が重量物であり、一度に大量の輸出を行う必要があるため、積載能力の高い船舶が適しているから	自動車などの輸送用機械は、製品一つひとつの重量が大きく、体積も占有するため、航空機での大量輸送には向きません。海上輸送は、航空輸送に比べて時間はかかりますが、重量のあるものを一度に大量に、かつ低コストで運ぶことができるため、日本の主力輸出産業である自動車産業を支える重要なインフラとなっています。

- 問1 石川県を含む日本海側の地域では、農業産出額において米の占める割合が高い傾向にあります。この地域で稲作が盛んになった地理的な背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| 1. 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥に強い稲の品種改良が進んだため。 | 2. 広大な平野部が広がり、一年中高温多湿な気候を利用した二期作が行われているため。 | 3. 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。 | 4. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹くことで、稲の成長が促進されるため。 |
|--|--|---------------------------------------|---|
- 問2 日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るという気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。（2021年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。 | 2. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。 | 3. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。 | 4. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。 |
|--|---|---|--|
- 問3 三重県は中京工業地帯の一角を担い、年間の製造品出荷額等の合計が10兆円を超える全国有数の工業県です。この県の工業出荷額の内訳において、約24.6%を占めて最大となっている産業はどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|----------|---------|------------|
| 1. 印刷業 | 2. 食料品工業 | 3. 化学工業 | 4. 輸送用機械工業 |
|--------|----------|---------|------------|
- 問4 長野県において、農業産出額に占める野菜や果実の割合が、米などの他の品目と比較して高くなっている理由として、地理的な背景を説明したものを選びなさい。（2019年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、冬でも野菜を栽培する促成栽培が盛んなため。 | 2. 広大な平野部で大型機械を導入した米の単作が効率的に行われているため。 | 3. 標高が高い地域の涼やかな気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。 | 4. 大都市に隣接しているため、土地を高度に利用したビニールハウスによる施設園芸が主流だから。 |
|--|---------------------------------------|--|---|
- 問5 日本の5つの県を比較した統計において、県土に占める山地の割合が約85%と極めて高く、かつぶどうの栽培面積や収穫量が日本一である県はどこですか。（2024年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山梨県 | 2. 岡山県 | 3. 愛媛県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 都道府県別の平均標高を示した統計において、山梨県や群馬県を抑えて最も高い1132メートルを記録している長野県の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冬の温暖な気候と日照時間を活かし、ビニールハウス等を用いて出荷時期を早める促成栽培が盛んである。 | 2. 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。 | 3. 周囲を海に囲まれた温暖な気候を活かし、早場米の生産や花卉の栽培が大規模に行われている。 | 4. 内陸の盆地特有の、夏に高温多湿となる気候を活かして稲作の二毛作が盛んに行われている。 |
|---|--|--|---|
- 問7 2015年に長野から金沢駅まで延伸開業した北陸新幹線が、地域社会や交通網に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。 | 2. 新幹線の整備によって運賃が大幅に低下したため、自家用車や高速バスを利用する人がいなくなった。 | 3. 交通の利便性が向上したことにより、地方から東京へ人口が集中する「ストロー現象」が解消された。 | 4. 新幹線開通と同時に並行する在来線の運行本数が増加し、地域住民の日常的な利便性が飛躍的に向上した。 |
|--|---|---|---|
- 問8 中部地方の4つの県（新潟県、富山県、長野県、愛知県）を比較した統計において、面積が約1万3562平方キロメートルと4県の中で最も広く、かつ果実の産出額が約557億円に達し、他県（約22億円～207億円）と比べて際立って高い数値を示している県はどこか、次の中から選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 富山県 | 3. 愛知県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 日本の本州中部において、日本海側に面しており、戦国時代には上杉謙信が拠点としたことで知られ、現在は越後平野を中心に米の生産が非常に盛んな都道府県はどこか。（2021年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 埼玉県 | 3. 富山県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 山梨県の上野原市付近は、桂川（相模川）沿いに形成された河岸段丘が見られる地域です。この地域の地形図において、道路の北側に崖がそびえ、南側を鉄道の線路が並行して走っているような土地利用が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 洪水の被害を避けるために、あえて居住地や道路を山の頂上付近に集中させているから。 | 2. 鉄道の脱線を防ぐため、風よけとして北側に人工的な高い壁を建設することが法律で定められているから。 | 3. 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。 | 4. 広大な平野部において、最短距離で都市間を結ぶために周囲の地形に関わらず直線的に線路を敷いたから。 |
|---|---|--|---|
- 問11 ぶどうの生産量が全国1位である県について、その地理的な特徴や農業の様子として最も適当なものはどれか。（2019年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 太平洋側に位置し、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が盛んである | 2. 内陸部に位置し、高冷地でのレタスなどの抑制栽培が盛んである | 3. 日本海側に位置し、広大な平野で水田単作が行われている | 4. 内陸部に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである |
|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
- 問12 冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 南西諸島の気候 | 2. 北海道の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 中央高地の気候 |
|------------|-----------|-----------|------------|
- 問13 長野県において、リンゴやブドウといった果樹栽培が盛んに行われている理由として、この地域の気候の特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|-------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 一年を通じて温暖で、黒潮の影響により冬でも霜が降りにくい気候であるため | 2. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、雪解け水が豊富なため | 3. 梅雨や台風の影響を強く受け、年間を通じて非常に降水量が多い気候であるため | 4. 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため |
|--|-------------------------------|---|--------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。	石川県などの日本海側の地域では、冬に湿った季節風の影響で大量の雪が降ります。この積雪は春になると雪解け水となり、稲作に不可欠な灌漑用水（農業用水）として利用されます。このような自然のサイクルが、北陸地方を日本有数の穀倉地帯へと発展させました。なお、やませは東北地方の太平洋側に吹く風であり、二期作は主に高知県などの温暖な地域で見られる特徴です。
問2	答え 1 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。	北陸地方の稲作において、冬の降雪は「天然のダム」としての役割を果たします。山地に積もった大量の雪が春から初夏にかけて徐々に溶け出すことで、田植えの時期に必要な大量の水を安定して供給することができます。この雪解け水という安定した水源があることが、北陸地方で単作（年1回の稲作）による大規模な米作りが発展した背景にあります。
問3	答え 4 輸送用機械工業	三重県は愛知県などとともに日本最大の工業地帯である中京工業地帯を構成しています。統計上、四日市市の石油化学コンビナートを背景とした化学（12.5%）や石油・石炭製品（7.6%）の割合も高いですが、鈴鹿市などに大規模な工場が集まる自動車関連の「輸送用機械」が全体の約4分の1を占め、最も主要な産業となっています。
問4	答え 3 標高が高い地域の冷涼な気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。	長野県では、夏の涼しい気候を利用して出荷時期をずらす野菜の抑制栽培（高原野菜）が行われています。また、傾斜地は水はけが良いため果樹園に適しており、リンゴなどの栽培に利用されています。このような自然環境に合わせた適地適作が行われていることが、農業産出額の構成に反映されています。
問5	答え 1 山梨県	中部地方の中央高地に位置する山梨県は、県土の大部分が山地で占められていますが、甲府盆地の気候や扇状地という地形を活かした果樹栽培が非常に盛んです。特にぶどうの収穫量は全国1位であり、盆地の斜面や水はけの良い土地を有効に活用した農業が特徴です。
問6	答え 2 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。	長野県は平均標高が日本で最も高く、夏でも涼しい高冷地の気候を有しています。この気候条件を利用し、平地での出荷が減少する夏場にレタスなどの高原野菜を収穫・出荷する「抑制栽培」が発達しました。これにより、他の産地と出荷時期をずらすことで、市場において有利な価格で販売することが可能になっています。
問7	答え 1 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。	北陸新幹線の延伸により、首都圏と北陸地方を結ぶ鉄道の所要時間が大幅に短縮されました。これにより、金沢駅を中心とした観光地へのアクセスが向上し、交流人口の増加や観光消費による経済効果もたらされました。一方で、新幹線の運賃は安価になるわけではなく、また大都市へ人や経済が吸い寄せられる「ストロー現象」や、並行在来線の経営分離といった課題も存在します。
問8	答え 4 長野県	長野県は中部地方で最大の面積を持ち、その多くを山地が占めています。内陸の盆地を中心とした地形は、冷涼な気候や日当たりの良さを生かした果樹栽培に適しており、リンゴやブドウなどの産出額が近隣県に比べて非常に高いのが特徴です。一方、新潟県は米、愛知県は野菜や花の産出額が高いという異なる特徴を持っています。
問9	答え 1 新潟県	越後平野は日本有数の稲作地帯であり、この平野を抱える新潟県は米の生産量が全国トップクラスです。また、戦国時代には上杉謙信がこの地を治めていました。選択肢にある長野県と埼玉県は内陸県であり、富山県は新潟県の隣に位置しますが越後平野は含みません。
問10	答え 3 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。	上野原市周辺のような中山間地域では、山地や河岸段丘の崖によって、大規模な開発が可能な平坦地が制限されています。そのため、かつての街道や現在の国道、そして鉄道（中央本線）などの交通網は、地形の制約を受けながら、崖と河川の間の狭い空間に集中して配置されるという特徴的な土地利用が見られます。
問11	答え 4 内陸県に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである	ぶどうの生産量が全国1位の県は山梨県である。山梨県は海に面していない内陸県であり、甲府盆地の扇状地など水はけの良い地形を生かして果樹栽培を行っている。「高冷地でのレタス」は同じ内陸県である長野県の特徴であり、誤答として選ばれやすい。「日本海側」は新潟県や山形県など、「太平洋側」は高知県や宮崎県などの特徴である。
問12	答え 4 中央高地の気候	山梨県の甲府盆地や長野県の長野盆地などは、季節風の影響を直接受けにくい内陸に位置しているため、他の地域と比較して降水量が少なくなります。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、夏は日中の気温が非常に高くなる盆地特有の性質を持っています。
問13	答え 4 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため	長野県は海から離れた内陸部に位置するため、海岸部に比べて季節や昼夜による気温の変動が激しい「内陸性気候」が見られます。果樹栽培において、この寒暖差は果実の糖度を高める重要な要因となります。また、盆地では比較的降水量が少なく、日照時間が長いことも果物の育成に適しています。